

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

12月号(NO39)通巻189号

2021年12月10日(金)発行(毎月10日)

【農暦】菜園仲間から白菜、キャベツ、大野芋などの寄付を頂き、子供食堂へ！

○朝日が眩しい。寒い朝も元気を貰える。畑は白く見える。本格的ではないが霜が降りている。キュウイの葉も、ブルーベリーの葉も落ちている。ブルーベリーは2本だけ紅葉が残っている。ブルーベリーは種類が多いと聞くから別の種類のような。畑の片付けや耕起をしているので、すっきりした畑になって来ている。引き続き頑張りたいと思う。

○立冬から1ヶ月も経っているので“秋の夜長”とは言わないが、日の暮れるのが早い。夜が長く感じる。午後から農作業を始めると、すぐ暗くなってしまう。体力的には程良い加減である。やろうとすることの半分しか進まないが、これでいいと思う。凍土になる前にリセットが出来ればいいと思っているからである。

○子供食堂の話からであるが、菜園仲間から白菜、キャベツ、大野芋などの寄付して頂き、先日、子供食堂へお届けした。ブルーベリー、薩摩芋、カボチャ、キュウイなどを、ご近所さんへお裾分けしたりしていたが、子供食堂と繋がりが出来たので、少しでもお届け出来たらいいと思う。また継続することが大事なのだと思う。



＜畑全景＞3日撮影

○これからは剪定の時期である。果樹や庭木などの剪定方法をネットで調べている。柿、プラム、梅などはほとんど同じで、キュウイは少し違う。庭木も似たり寄ったりで、ほとんどは休眠期の冬から春先が適期である。ブルーベリーは昨年教えて頂いた剪定の葉があるので、まずは、これから始めたいと思う。少し頑張ってみたいと思っている。

○コロナ収束を待っていたのだが、久しぶりに電車に乗り有楽町で待ち合わせし酒席を持った。有楽町の変わりように戸惑いながら約束の場所に行けた。昔の有楽町はちょこちょこ残り健在？だった。やはり昔話になっていた。これからの話題は少なかったが、エネルギーを貰えた、よい時間が持てた。都会のエネルギーを感じ、伝わって来るような気がした。酒場はいい。田舎もいいが都会もいい。それにしても、コロナの新種のおミクロン株が不気味に拡がり始めている。水際対策で、6次がないこと祈りたい。(了)



＜キュウイ＞3日撮影

【楽農】＜畑＞黒豆、菊芋、収穫、つる首カボチャの収穫。

ピーマン、トマトは少々。絹さや種まき、玉葱植込み。草刈り、畑の片付け、耕起など。

【楽市】イベントなど；詩吟(11・25・9日)川柳の会(2日)バード大会(18日)。地元クリーン活動(20日)

【つぶやき=Tweet】12月7日は特別な日なのである！

○“屋根を修理するなら日が照っているうちに限る”と岸田総理の所信表明でケネディー元米大統領の言葉を引用したと7日の新聞にあった。修理したくても修理するお金がない人はどうすればよいかの問題なのだ。転ばぬ前の杖もあるが、それに越したことはない。だが、既に転んでいる人がいるのである。弱者に響く言葉ではない。



＜唐辛子＞4日撮影

○ケネディーの演説では“国家が自分に何をしてくれるかではなく、自分が国家に何ができるのかを問うて欲しい”が有名である。なぜケネディーだったか？民主党のバイデン政権を意識したのか。“国家が自分に何を”だったが、菅前総理の自助演説の不人気で止めたのか。コロナ対策を急ぐ話なら別の選択があったのではとってしまう。

○ケネディーは“公助（国）を自助（国民）で支えろ”まで云っている。それは国家としては理想だろう。誰だって、本当は、自助が出来ればいい。自分で頑張って自己実現出来れば、それが一番である。格差社会の歪みは、楽しみや希望を持たない程に追い込まれて人を生み出している。コロナ禍はより弱者に過酷だという。人気取りのバラ撒きの給付では、本当に困っている人を救済できない。“屋根を修理”は真に困った人にして欲しい。給付の仕方に？が付く。

○ケネディー元大統領と云えばキューバ危機の当事者である。核戦争一步手前まで行った危機である。もしや核戦争がと多くの人が恐怖した。多くの人がニュースを固唾を呑んで聞いていたことが記憶に残っている。岸田総理は所信表明で「敵基地攻撃」まで踏み込んでいる。安保法制で平和憲法はここまで骨抜きにされている。キューバ危機の悪夢が思いだ出される。怖いところへ近づいている。

○ミャンマ、アフガニスタン、ウクライナ、香港、台湾などでキナ臭い政治的緊張が起きている。国際政治は対立軸を作ろとしている。ベトナムのこと、イラクのこと、それにアフガニスタンは軍事による解決はないことを教えている。

○7日は80年前の真珠湾奇襲で太平洋戦争開戦の日である。25年前の7日は原爆ドームが世界遺産に登録された日である。と新聞の見出しにある。NHKで日本人はなぜ開戦に熱狂した？放映している。第二次大戦から76年が過ぎ、戦争体験者少なくなった今、7日は特別な日なのである。災害は忘れたところにやってくる。戦争も同じである。戦争には勝者はいない。核戦争は人類破滅である。(了)

○断捨離考：また頓挫している。年末には整理整頓に廃棄頑張りたい。

【後記】新種のオミクロン株が不気味に拡がり始めている。対策怠らず、酒席がいい。

【HP；kogure農場に転載】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com